

おめでとう！

かねとうりえ 金藤理絵選手



平成18年12月撮影

北京五輪代表決定 (競泳女子2000平)

競泳の北京五輪代表選考を兼ねた、水泳の日本選手権が4月20日、東京辰巳国際水泳場で行われ、庄原市山内町出身の金藤理絵選手(東海大2年)が女子2000㍔平泳ぎ決勝で2位に入り、五輪代表に決定しました。

金藤選手は2分26秒28のタイムでフィニッシュし、日本水泳連盟の五輪選考基準である、2位以内で同種目の五輪派遣標準記録(2分26秒58)を突破しました。応援に駆け付けた父の宏明さんは「強い選手が2人いるので、代表に選ばれる可能性は1%だと思っていた。本当によくがんばった」とたたえました。

庄原市出身の五輪代表は、1972年ミュンヘン大会の榎平勇壮選手(近代5種・東城町)、友永義治選手(陸上競技200㍔・400㍔・宮内町)、竹内章選手(陸上競技3000㍔障害・西城町)以来、36年ぶりです。

北京五輪の競泳競技は
8月9日～17日まで。
がんばれ！金藤理絵選手。